

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(平成 28 年 3 月解析分)

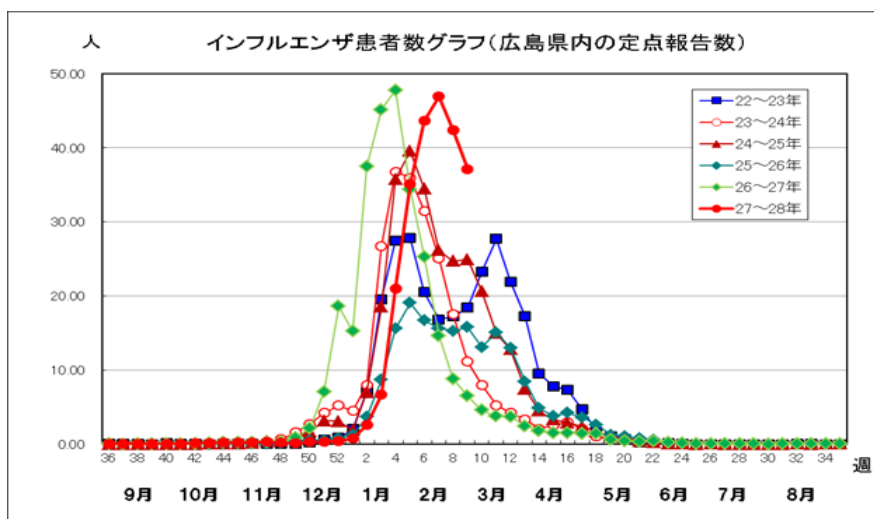
1 今月のトピックス

(1) インフルエンザの流行状況について

インフルエンザの定点医療機関（115 医療機関）からの報告患者数が、平成 28 年 1 月の 3,538 人から平成 28 年 2 月は 23,600 人と急増しました。

週毎では、平成 28 年第 7 週（2 月 15 日～21 日）をピークとして、県内の報告患者数及びインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告には減少傾向がみられますが、しばらくは流行が続くものと思われま

す。引き続き、「手洗い」や「咳エチケット」などの感染予防・感染拡大防止対策の徹底をお願いします。



(2) 梅毒について

近年、全国的に梅毒の報告患者数が増加傾向にあります。

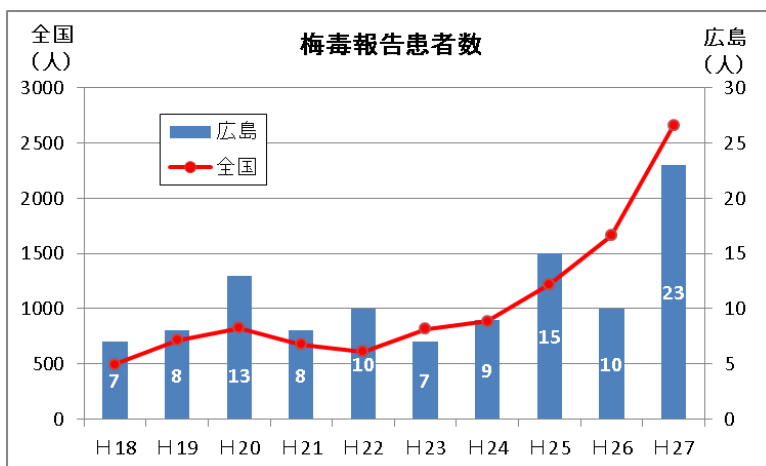
広島県においても、平成 26 年の報告患者数 10 人に対し平成 27 年は 23 人となり、対前年比で 2.3 倍の増加となりました。平成 28 年も 2 月末現在、県内の報告患者数は 6 人です。

梅毒は、主に性的接触によってうつる感染症です。原因は、梅毒トレポネーマという病原菌で、粘膜や皮膚の小さな傷から侵入して感染します。

陰部に潰瘍ができたり、リンパ節の腫れ、全身の発疹等の症状を呈します。進行すると、脳や心臓にも症状が出る場合があります。また梅毒に罹患している方が妊娠すると、早産や死産になったり、胎児に重篤な異常をきたすことがあります。

感染が疑われる症状が見られた場合には、早期に医師の診断、治療を受けましょう。

なお、コンドームの適切な使用によりリスクを減らすことができます。また、一度治っても再び感染することがあるので、パートナーと一緒に検査・治療しましょう。



2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

平成28年2月分(平成28年2月1日～平成28年3月6日:5週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	23,600	41.04	19.84	↑	11	ヘルパンギーナ	12	0.03	0.01	↗
2	RSウイルス感染症	120	0.33	0.55	↓	12	流行性耳下腺炎	177	0.49	0.48	↘
3	咽頭結膜熱	123	0.34	0.58	↘	13	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.01	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	912	2.53	2.18	↗	14	流行性角結膜炎	62	0.65	0.51	↘
5	感染性胃腸炎	2,900	8.06	8.72	→	15	細菌性髄膜炎	1	0.01	0.01	
6	水痘	90	0.25	0.95	↘	16	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.02	
7	手足口病	3	0.01	0.12	↓	17	マイコプラズマ肺炎	36	0.34	0.18	↘
8	伝染性紅斑	313	0.87	0.10	↘	18	クラミジア肺炎	1	0.01	0.00	
9	突発性発しん	131	0.36	0.42	↗	19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	86	0.82	—	↑
10	百日咳	8	0.02	0.04							

(2) 定点把握(月報)五類感染症

平成28年2月分(2月1日～2月29日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	65	2.83	2.02	↗	24	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	71	3.38	4.92	→
21	性器ヘルペスウイルス感染症	18	0.78	0.70	↘	25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	12	0.57	0.72	→
22	尖圭コンジローマ	11	0.48	0.84	↘	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.06	
23	淋菌感染症	15	0.65	0.97	↘						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年10月14日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

発生記号(前月と比較)

急増減疾患!!(定点当たり前比2倍以上増減)

- 急増疾患 インフルエンザ (7.76 → 41.04)
- 急増疾患 感染性胃腸炎(ロタウイルス) (0.35 → 0.82)
- 急減疾患 RSウイルス感染症 (0.73 → 0.33)
- 急減疾患 手足口病 (0.04 → 0.01)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患,月報対象7疾患)について、県内178の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	20～23	15～19, 24～26	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況 【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	36	結核(36)〔西部保健所(4),西部東保健所(1),東部保健所(6),北部保健所(2),広島市保健所(16),呉市保健所(3),福山市保健所(4)〕
三類	0	発生なし
四類	4	A型肝炎(1)〔広島市保健所(1)〕,E型肝炎(1)〔西部東部保健所(1)〕, レジオネラ症(2)〔西部保健所(1),広島市保健所(1)〕
五類全数	19	アメーバ赤痢(4)〔西部保健所(1),広島市保健所(2),呉市保健所(1)〕, ウイルス性肝炎(A,E型を除く)(1)〔福山市保健所(1)〕, カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(4)〔西部保健所(1),広島市保健所(2),呉市保健所(1)〕, 急性脳炎(2)〔広島市保健所(1),呉市保健所(1)〕, 後天性免疫不全症候群(1)〔広島市保健所(1)〕, 侵襲性肺炎球菌感染症(5)〔西部保健所(2),広島市保健所(3)〕, 梅毒(2)〔東部保健所(1),福山市保健所(1)〕